

視力検査の方法

3歳児健診では、お子さんの視力の確認をしています。同封の指標を使って視力検査をしてみましょう。検査の結果は、3歳児健康診査票（裏面）のアンケート用紙に記入して健診日にお持ちください。

<視力検査の必要性>

子どもの目の機能は生まれてから発達を続け6歳にはほぼ完成します。目の機能の発達が遅れるとよい視力が得られませんので、早く見つけて小さいうちから正しい治療や指導をする必要があります。

<用意するもの>

- 1 指標：同封の厚紙のもの。大きい輪は練習用、小さい輪が検査用です。
- 2 眼帯：ガーゼ、またはティッシュペーパーを5cm位の大きさに切って絆創膏かセロテープでのぞかれないようにしっかり貼ってください。
- 3 距離を測るためのものさし、またはメジャー。

検査の方法

- 1 楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。
- 2 視力検査の練習をします。
 - (1) 1m位離れて大きい輪を見せます（図1を参考にしてください）。両目を開けておこないます。
 - (2) 切れ目の方向を指か手で示して答えさせます。または、図2のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法もよいでしょう。
 - (3) 切れ目の方向は左、右、上、下の4方向とします。指標の向きを変えるときは、必ず一度指標を隠してから変えてください。
 - (4) 1m位で出来たら、2.5m（できるだけ正確に測ってください）離れておこなってください。
 - (5) 両目を開けて、切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - (6) 片目を隠す練習です。右目、左目をそれぞれ隠して答えさせてください。
- 3 検査します。
 - (1) 小さな輪を使い、2.5m離れて検査します。
 - (2) 両目で検査します。左右上下の4方向見せて、3方向以上正解したら見えたとします。
 - (3) 左目を隠し、右目の検査をしてください。見にくそうだったり、嫌がったりするときには、左目から検査してください。両目の時と同じように判定します。
- 4 両目、右目、左目それぞれの検査結果をアンケート用紙に記入してください。

※一度検査がうまくできなくても、何度か繰り返すとだんだん慣れて上手になりますので、日を変えて検査してください。

図1 指標の見せ方



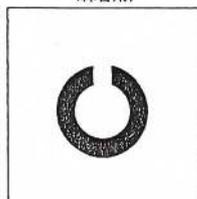
図2 切れ目の答え方



見 本

<検査には同封の厚紙のものを使用してください。>

(練習用)



(検査用)

